

参考資料 1-1

平成 24 年度からのカムイワッカ地区の計画検討と管理実施の体制案について

1. 背景・経緯

カムイワッカ地区においては、幌別以奥の自動車利用適正化を検討しマイカー規制を運用する知床国立公園カムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会と、カムイワッカ湯の滝の利用の課題を検討し、安全管理を行うカムイワッカ湯の沢利用対策連絡協議会が設置されている。また、平成 23 年からはカムイワッカから硫黄山登山口までの区間（特例区間）の道路使用に関する運用が始まった。

平成 22 年に設置された知床世界遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議では、個別課題毎に設定されている既存の協議会等をこの会議の個別部会として統合し、整理を図ることとされ、部会での検討は、同検討会議で策定中の知床エコツーリズム戦略の基本原則のもと行うこととされている。

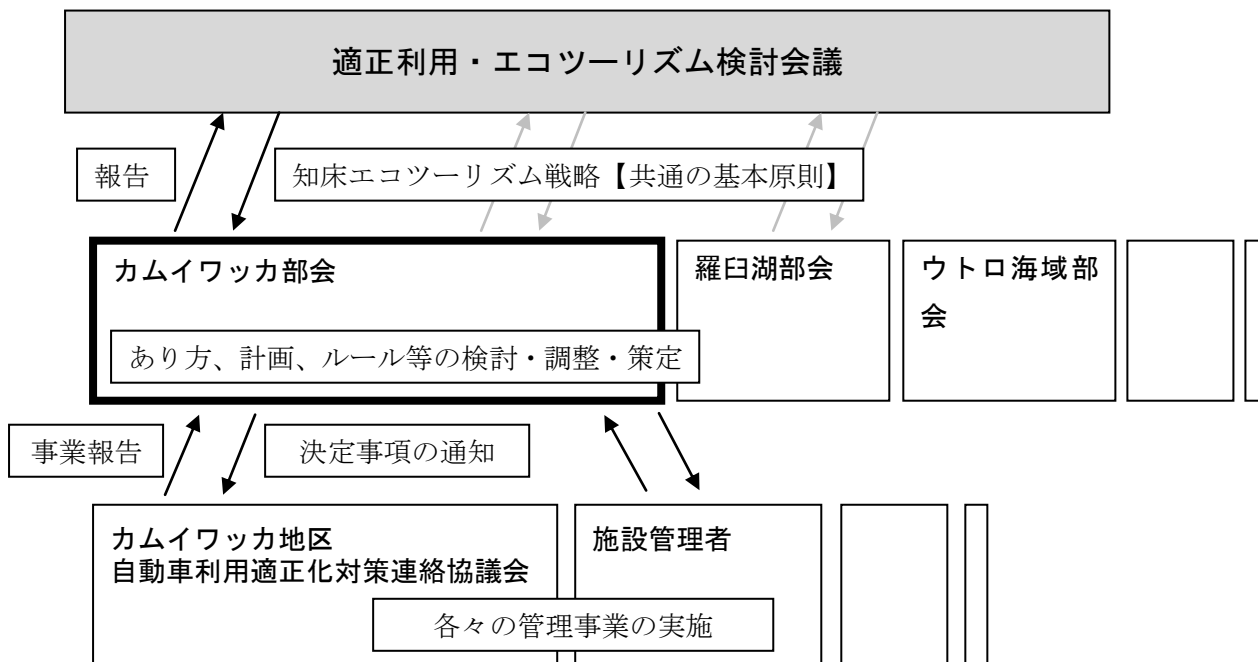
そのような中で、平成 23 年 4 月 12 日に開催された湯の沢利用対策連絡協議会、5 月 26 日に開催された自動車利用適正化対策連絡協議会の各々の会議において、カムイワッカ地区の課題を統一的に議論し、管理運営するための新たな組織に改組する方針が了承された。

2. 新たな体制で扱う課題

別紙 1 「カムイワッカ地区課題取扱項目一覧」参照

3. 新組織体制案

各課題を統合的に調整し利用のあり方・利用ルール等を検討する組織「(仮称) 適正利用・エコツーリズム検討会議 カムイワッカ部会」を新たに設置する。策定された利用ルール等に従い各々の課題毎に「カムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会」等が管理事業を実施する。



参考資料 1-1

「(仮称) 適正利用・エコツーリズム検討会議 カムイワッカ部会」(部会)

- ・世界自然遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議の個別部会に位置づける。
- ・関係する機関・団体及び有識者により部会を構成する。
- ・知床エコツーリズム戦略の基本原則に従い、カムイワッカ地区の利用における諸課題を整理し、利用のあり方、管理計画、利用ルール等(以下「利用ルール等」という)を検討、調整、策定する。
- ・部会で調整・策定した利用ルール等は、適正利用・エコツーリズム検討会議に報告する。
- ・利用ルール等の検証や設定のための調査・モニタリングは部会でとりまとめ・評価する。

【構成案】

専門家

学識者(自然災害、地質解析)

学識者(自然公園、交通システム)

構成員

北海道開発局網走開発建設部、北海道運輸局北見運輸支局、北海道警察(北見方面本部、斜里警察署)、一般財団法人自然公園財団知床支部、公益財団法人知床財団、知床自然保護協会、斜里山岳会、北見地区ハイヤー協会、北見地区バス協会、斜里バス、NPO 知床斜里町観光協会、知床温泉旅館組合、知床民宿協会、ウトロ自治会、株式会社ユートピア知床

事務局

環境省釧路自然環境事務所、北海道森林管理局網走南部森林管理署、北海道オホーツク総合振興局(網走建設管理部、保健環境部)、斜里町(商工観光課、環境課)

「(新生) カムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会」(協議会)

- ・部会で決定、適正利用・エコツーリズム検討会議で確認された計画等に沿って、マイカー規制等自動車利用適正化対策を実施する。
- ・マイカー規制等対策事業に従事する機関・団体により協議会を組織するよう規約改正を行う(規約案資料 4-2)。
- ・毎年度総会にて事業報告・事業収支の確認、事業計画の調整・承認を行い、執行状況について部会に報告する。

【構成案】

環境省釧路自然環境事務所、北海道オホーツク総合振興局(網走建設管理部、保健環境部)、斜里町(環境課)、斜里バス、知床斜里町観光協会、知床温泉旅館組合、公益財団法人知床財団、一般財団法人自然公園財団

※新たな体制でのスケジュール 別紙 2 参照

カムイワッカ地区課題取扱項目一覧

<登山口までの利用>

- ・ 利用期間、方法等の検討及び関係機関・団体との調整【計画】
- ・ 現地管理業務の実施（実行）
- ・ 管理詰所の設置（実行）
- ・ 携帯トイレ使用の普及、使用済み携帯トイレの回収（実行）

<湯の沢の利用>

- ・ 利用期間、方法等の検討及び関係機関・団体との調整【計画】
- ・ 現地調査の実施（実行）
- ・ 上部立入の監視、巡視（実行）
- ・ 利用マナーの啓発（実行）

<マイカー規制>

- ・ 利用期間、方法等の検討及び関係機関・団体との調整【計画】
- ・ 現地管理業務の実施・警備員配置（実行）
- ・ 通行許可申請（実行）
- ・ チラシ配布、道路の電光情報板への表示、看板設置等による広報周知（実行）
- ・ カムイワッカへの仮設トイレ及び更衣室の設置（実行）
- ・ 現地調査の実施（実行）

<共通広報>

- ・ 共通広報戦略の検討【計画】
- ・ ホームページでの周知（実行）
- ・ チラシ配布等（実行）

<安全管理>

- ・ 緊急時連絡体制（実行）
- ・ 閉鎖等の対策・対応（実行）

カムイワッカ部会における検討課題とスケジュール

カムイワッカ部会においては、カムイワッカ地区における諸課題を統合的に調整し利用のあり方・利用ルール・計画等の検討が行われる。カムイワッカ自動車利用適正化対策については、平成23年から3カ年の試行として実施されており、平成26年以降の規制内容について部会での検討を進める必要がある。この際、適正利用・エコツーリズム検討会議での新たな提起などに対応し、他の利用との調整を図り進める。

カムイワッカ地区マイカー規制の検討スケジュール

